

法教育に関する取組

塩川泰子

取組状況 第二東京弁護士会法教育委員の場合

- 教材作成
- 研修
- 模擬裁判
- ジュニアロースクール、デリバリー授業、裁判傍聴引率等

授業内容

- ルール作り系
- 紛争解決系
- 模擬裁判
- いじめ予防授業

研修実施状況

- 授業体験者による経験共有
- 学者による法教育研修

論文執筆のきっかけ

- 遅れる研修
- 必要性を感じていない教員の存在
- 法曹はなぜ必要性を感じているのかという問い

法教育をめぐるキーワード

対立と合意

法的な思考

幸福・自由・公正

生きる力

民主主義の担い手の育成

非行の抑制？

裁判員裁判

法教育をめぐるキーワード2

生きる力

対立と合意

幸福・正義・公正
法的な思考 等

各論的獲得目標

各論的獲得目標

- 幸福・正義・公正
- 法的な思考

→さらに、具体的には？

授業に応じた各論的獲得目標 ～法的な思考～

- 事実に争いがなく主張に争いがある事案
- 認識している事実に争いがある事案
- 立場の違いによる争いがある事案

授業に応じた各論的獲得目標 ～幸福・正義・公正～（論文執筆後）

- 概念そのものは当たり前でもあり、哲学的でもあり...
- ルール作り系の授業
- 概念につながる人権授業

まとめ ～今後の課題～

- 獲得目標の明確化、具体化
- 法分野と教育分野の融合

→目的意識の共有へ

ご清聴ありがとうございました。